

2021年度 企業アンケート結果について

1. 対象企業数：

本学卒業生の就職実績のある企業 1,302社 （回答 279社）

2. 実施期間：

2022年3月7日（月）～3月23日（水）

3. 目的

本学のキャリア教育等へ反映させ教育改善へ役立てることを目的とする。

【問い合わせ先】

東京電機大学
学生支援センター（キャリア支援・就職担当）
IRセンター

Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。

Q2. 最近（2017年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。
いない場合は、Q7にお進みください。

Q3. 最近（2017年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との比較において以下の能力等はどのように感じられますか。1～5の該当する番号を選択ください。

a.コミュニケーション能力 b.意欲・積極性 c.基礎的な知識・技術 d.応用力・想像力
e.日本語力・文章力 f.論理的思考 g.語学力 h.問題解決能力・実行力 i.ストレス耐性・粘り強さ

5：高い 4：やや高い 3：ふつう 2：やや低い 1：低い

Q4. Q3.に関連し、本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
当てはまるものすべてにチェックください。

- ① コミュニケーション能力の育成 ② 課題解決型教育
③ 研究成果発表などプレゼン能力 ④ 専門ソフト等のスキルアップ
⑤ より実践的な実験・実習 ⑥ 一般常識・教養教育 ⑦ グループワーク
⑧ キャリア教育 ⑨ インターンシップ ⑩ 資格取得支援 ⑪ 英語教育
⑫ 日本語力・文章力 ⑬ メンタルトレーニング ⑭ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q5. 最近（2017年～2021年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。
当てはまるものすべてにチェックしてください。

- ① まじめで手堅い ② 素直で指示によく従う ③ 協調性がある
④ リーダーシップがある ⑤ 勉強熱心で向上心が高い ⑥ 同窓のつながりが強い
⑦ 積極的で主体性がある ⑧ 競争意識が高い ⑨ メンタル的に強い ⑩ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q6. 最近（2017年～2021年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。

- ① 大変満足 ② おおむね満足 ③ 満足ではない

Q7. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

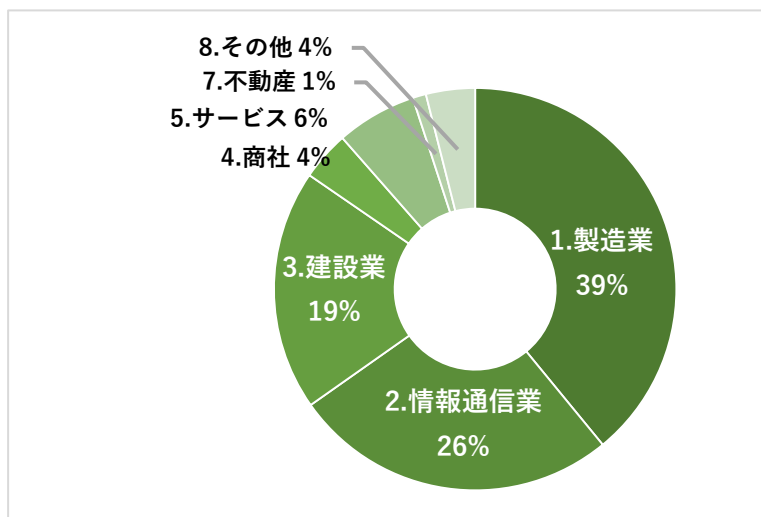
- ① アルバイトなどの社会人経験 ② 学生団体・部活・サークル活動
③ グループ・団体等でのリーダー体験 ④ ボランティア活動
⑤ イベント等の企画・運営 ⑥ 社会人との交流 ⑦ コンテスト・競技会等への参加
⑧ 趣味等のコミュニティーへの参加 ⑨ 留学等の海外体験 ⑩ その他

Q8. コロナ禍の影響により、大学がオンライン授業を導入していることについてご意見があればお聞かせください。

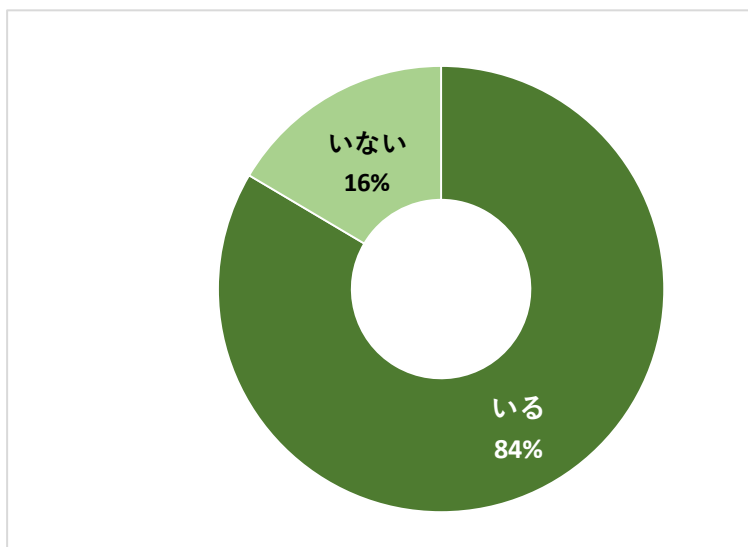
Q9. コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。

Q10. その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。

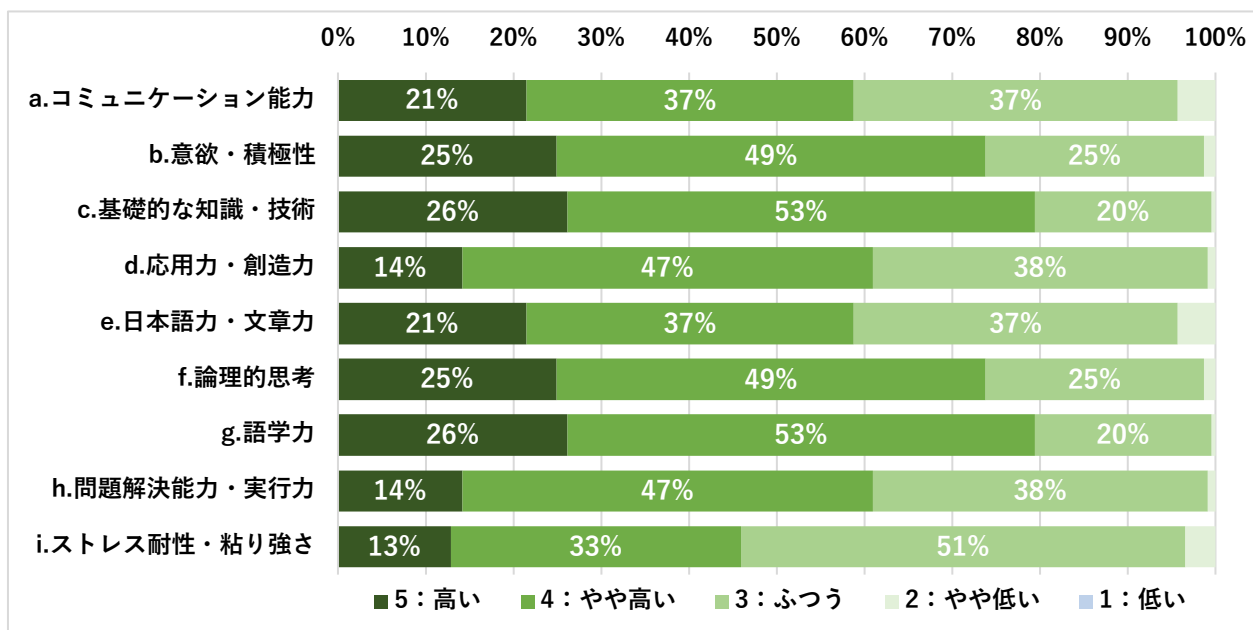
Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。



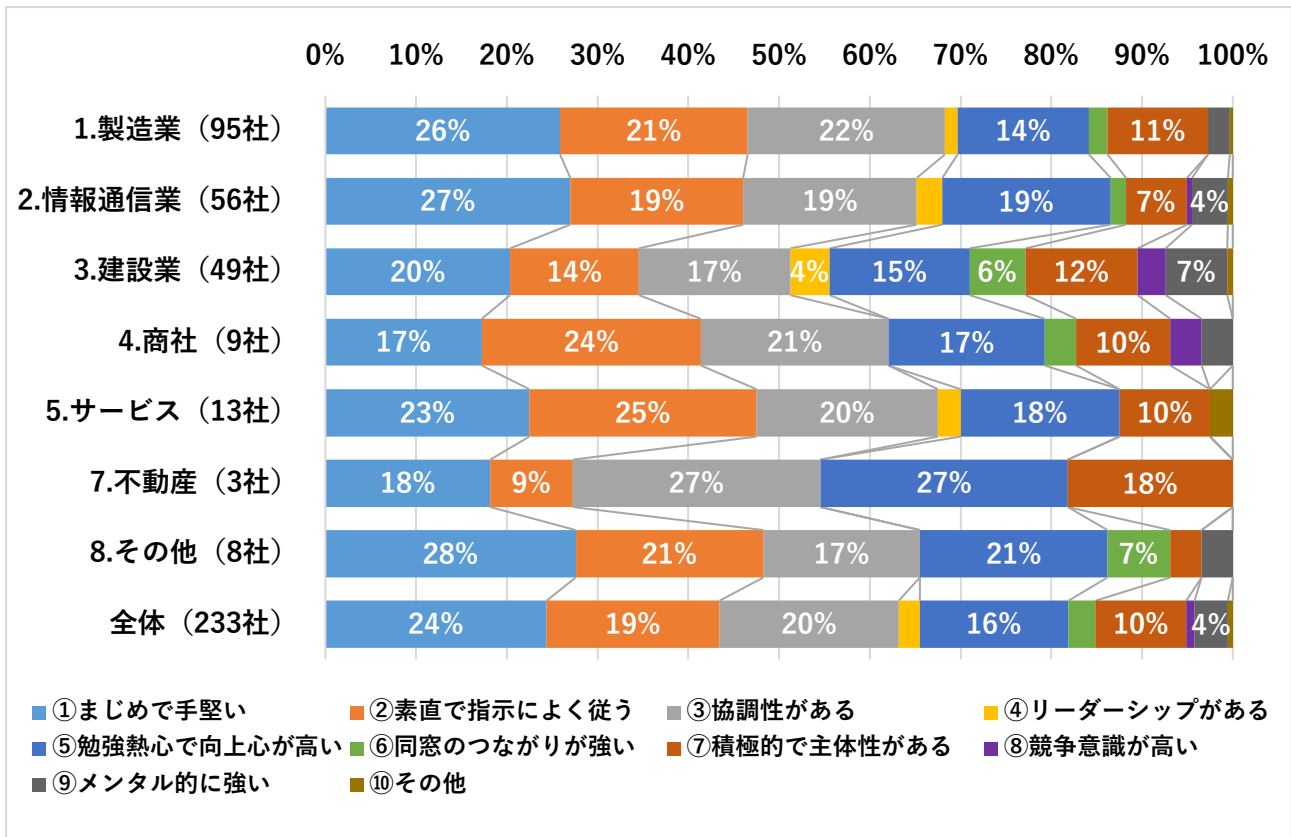
Q2. 最近（2017年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。いない場合は、Q7にお進みください。



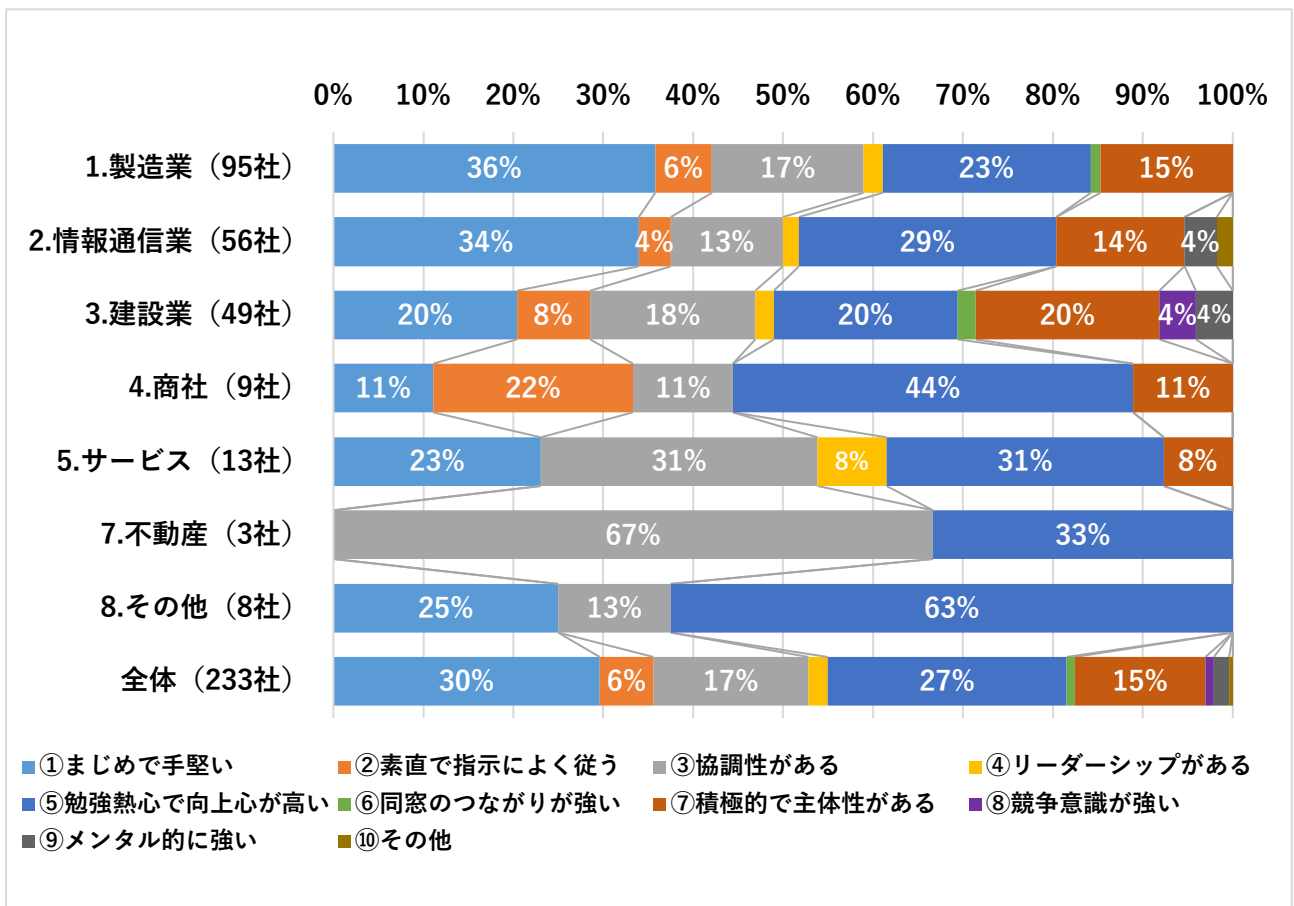
Q3. 最近（2017年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との比較において以下の能力等はどのように感じられますか。（有効回答：233社）。



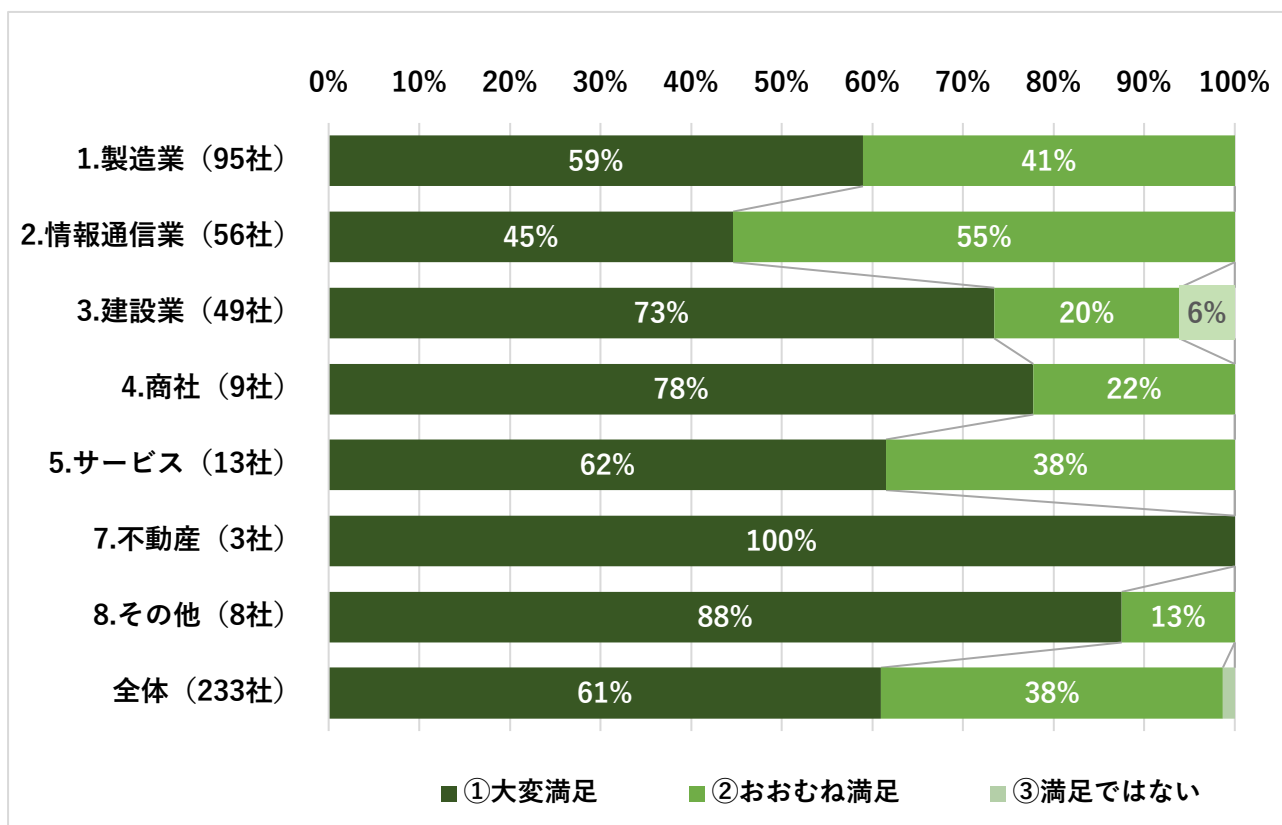
Q5. 最近（2017年～2021年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。
（複数回答可）



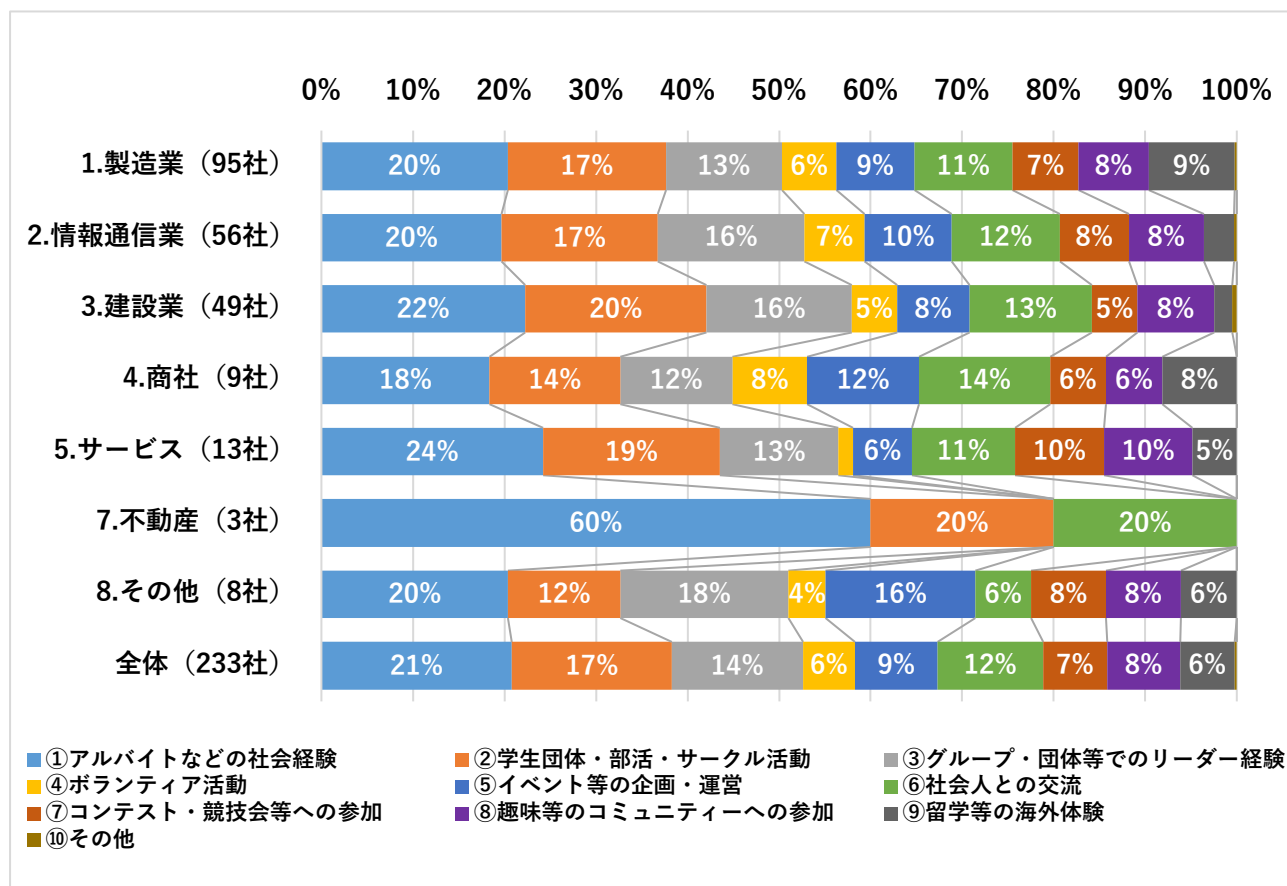
※ Q5 でチェックいただいた回答のうち、最も該当すると思われるものを選択してください。



Q6. 最近（2017年～2021年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。



Q7. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。



Q8. コロナ禍の影響により、大学がオンライン授業を導入していることについてご意見があればお聞かせください。（自由回答）

(1) 製造業

- ・コロナ禍でオンライン化が進み、いざ対面であった際のコミュニケーションが希薄な印象が全体の傾向として感じられます。そのため、学生間でのコミュニケーションを対面時にも円滑に取り組める仕組みなど、導入いただけると社会人になってからも、スムーズに対応できるかと感じました。
- ・オンライン授業導入により、通学時間がなくなり自由な時間が増え、時間の使い方が上手くなっている学生もいるように思いますが、受け身な学生が増加しているように感じます。
- ・実験・実習等の時間は減らさないで実施してほしい。
- ・今年度就職活動でお会いした理系学生の方からは、オンラインが主となったことで、成長実感の薄さ、実験や研究等の進めにくさ等を感じているという意見をよく聞きました。やはり学生にとっては、極力登校しての授業・実験・研究活動が適しているのではないかと思います。

(2) 情報通信業

- ・グループで何かをやり遂げるような経験が出来ているか気になります。
- ・価値観・考え方の違う人との関りをもって、社会に出て欲しいと考えており、可能な限り、学生が学校に足を運ぶようにしていただければと思います。
- ・コロナ禍のような状況でも学びが提供されることは非常に良いことと感じる。また、会社でも在宅勤務が実施されており、今後も在宅勤務が活用されることから、そういった環境に慣れることが出来てよいと感じる。
- ・他の学生等と話せる時間がより減っている印象があります。特に自分が好きなことだけ好きな人と勉強しているのが視野の狭さにつながってしまうのかなと感じています。故に就職活動でも情報の集め方が分からず自分のキャリアに向き合う方法がわかっていない学生が多い印象がありました。
- ・オンラインによるコミュニケーションに慣れている学生が増えている点は歓迎。ただ、活かしきれずに他者とコミュニケーションをとろうとする意欲が薄れてきている学生も多くみられると感じている。

(3) 建設業

- ・コロナ前後で学生の傾向を見ていますと、コミュニケーションに対して控え目な印象があります。また、横と縦の連携を取ることに消極的であることから、感染状況に合わせて対面活動も増やしていただければありがたいと思います。
- ・就職関連の情報が学生にうまく伝わっていないように感じます。また学内セミナー等についても他校も軒並み、オンラインだと参加数が少なく、苦労しています。
- ・2022卒の採用活動で感じた点ですが、例年より視野が狭く、話題が乏しい印象の学生が多かったように思います。オンライン授業でますますネット依存や、情報を得る手段がネット頼みになっているせいか、対面だから身に付けられる人の目を見て話す、表情から相手の感情を読み取るといった質疑応答などの会話力が不足しているように感じています。

(4) その他業種

- ・オンラインは今後の流れだと思っております。ただ、学生同士の繋がりが減っていくことも事実であり、グループでの作業（コミュニケーションの取り方）が形成されていない（経験がない）が大きな問題かと。よって、卒論等でグループで仕上げることを重要視していただけると社会に出て通用していくのではと考えます。

Q9. コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。

(1) 製造業

- ・求める人物像に変化はありませんが、以前よりもコミュニケーション能力が全体的に下がることが予想できます。その分ハードルが高くなる可能性があります。
- ・特にございません。(コロナ前に引き続き、自ら考え、周囲とコミュニケーションを取って行動する方、学ぶ姿勢のある方が求める人物像となります)
- ・しっかりと受け答えや反応を示せる方を求める傾向が強くなりました。
- ・基本的に変化はありませんが、リモートワークにより上司や先輩の目が届かないことがあるため、より自発的なコミュニケーション力が必要になっております。
- ・能動的に学習できる人材を要望(コロナだからこそこんな事を工夫しました、等)

(2) 情報通信業

- ・コミュニケーション能力。わからないことを自発的に発することができること。
- ・弊社もリモートワークを導入したり、会議はすべてオンライン化するなど、業務風景ががらっと変わりました。自ら目標やスケジュールを立てて、自走できる方を評価するようになりました。
- ・在宅勤務やリモートワークの導入が進んでいる状況ですと、これまでは入社することで、先輩社員が後輩の仕事の様子などを見てフォローなどができていましたが、リモートワークになるとそのようなことが出来づらくなるため、今まで以上に一人一人の主体性・自立性が強く求められると考えています。
- ・技術者の価値観が変化している事を感じ、適正な社会がどうであるか、考えられる人材が理想です。
- ・社会の変化のスピードが速くなってきたので、物事に対しより柔軟に対応できる力が必要になってきたと思います。
- ・テレワークによる業務遂行が多く、自律した考えや行動(報連相 等含む)が必要になってきています。

(3) 建設業

- ・特に変化はないが、筆記試験の重要性が増したと思います。マニュアルや手順書を使っの業務や、報告の際など言語・計数に関わる能力がないと伝わらない、できないことが増えたと思います。
- ・特にございません。面接等を通して、コロナ禍の影響なのか、全体的に学内で頑張ったことが中々なく、PRポイントが多くの学生で、アルバイトに偏ってしまっている点は非常に気になります。

(4) その他業種

- ・リモートワークが増え、直接会話が出来る頻度も減ったため、一人で抱えてしまう新入社員も見受けられます。そのような中でも、正確に報連相ができる方や一人で抱え込まないストレス耐性のある方を求めます。

Q10. その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。

(1) 製造業

- ・全体的に非常にまじめです。熱心にリーダーシップを取るタイプから、物静かにコツコツと進めるタイプもいるため、なかなか一括りにはできませんと感じます。コミュニケーション能力を養うワークがあったりすると、仕事を進める際にももう少しうまく進められるのではないかと考えます。
- ・コロナ禍ではありますが、学生の皆さんには実際に職場を自分の目で確認していただき、仕事に対するイメージをつかんでほしいと思います。
- ・基本知識をしっかり勉強されたイメージです。引続き新卒採用について、どうぞお願いいたします。

(2) 情報通信業

- ・貴学の卒業生につきましては、技術力もあり将来的にリーダーとして活躍できる人材が多く、今後も貴学より学生を採用させていただければと存じます。
- ・癖のない素直な学生さんが多い印象です。学校で学んだ知識に自信を持っていない人も多い印象です。
- ・口頭、文章等の手段を問わず、他者との関りを意識し自ら動き、働きかけられるようになると、より社会に出てからも活躍できると思います。

(3) 建設業

- ・明るく真面目な学生が多い印象です。配属された部内だけでなく、他部署と協働する仕事でも非常に協力的で、採用して良かったと思う人材ばかりでした。
- ・貴学卒業の学生はとても素直で、自分がすべきことを見つけようと意欲的に働いてくれており、弊社には欠かせない人材となっています。今後も東京電機大学の生徒を採用したいと考えておりますので、ぜひ今後ともよろしくお願いいたします。

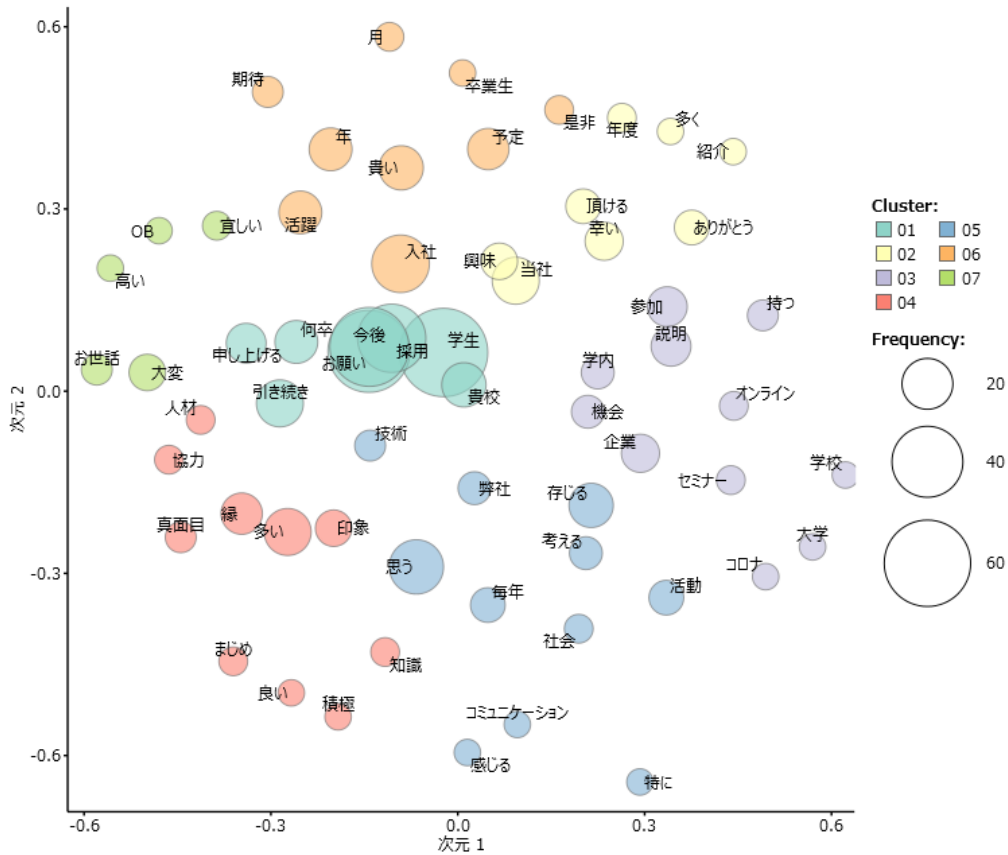
(4) その他業種

- ・向上心の高い方が多く当社の発展に多く寄与していただいております。
- ・社会的にも個人的にも現状を打破できる力を持った学生様が増えていただけるとありがたく存じます。(会社の古い文化に染まらない、反対されても新しいアイデアを「うまく」押し通す、など)
- ・授業や研究で困難な課題に創意工夫し取り組むことや、部活動・サークル活動・アルバイト等の課外活動で様々な方とコミュニケーションを図る、といった”学生らしい経験”をすることが社会人になって生きることを考えております。コロナ禍で難しいことかと存じますが、学生様には”学生らしい経験”を積み重ねていただきたいと思います。

Q10.について KH Coder によるテキストマイニング

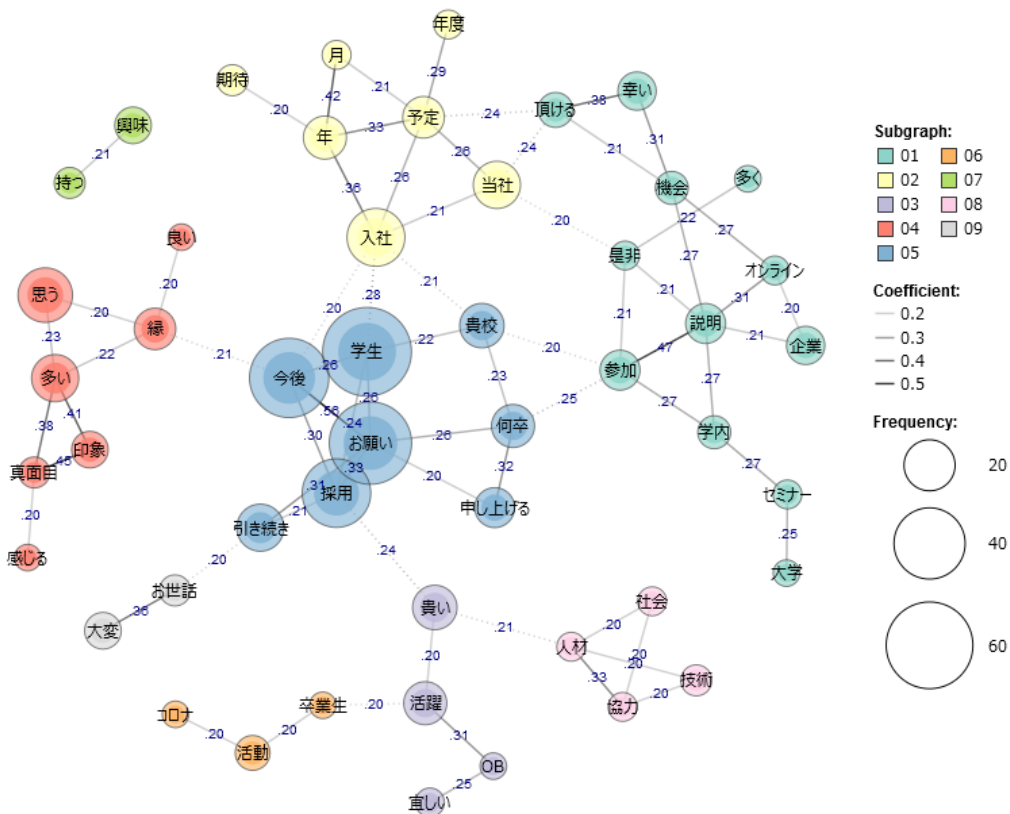
(1) 多次元尺度構成法

(色ごとにクラスター化しバブルの距離で似たものは近くに異なる言語は遠くに配置されるグラフ)



(2) 共起ネットワーク

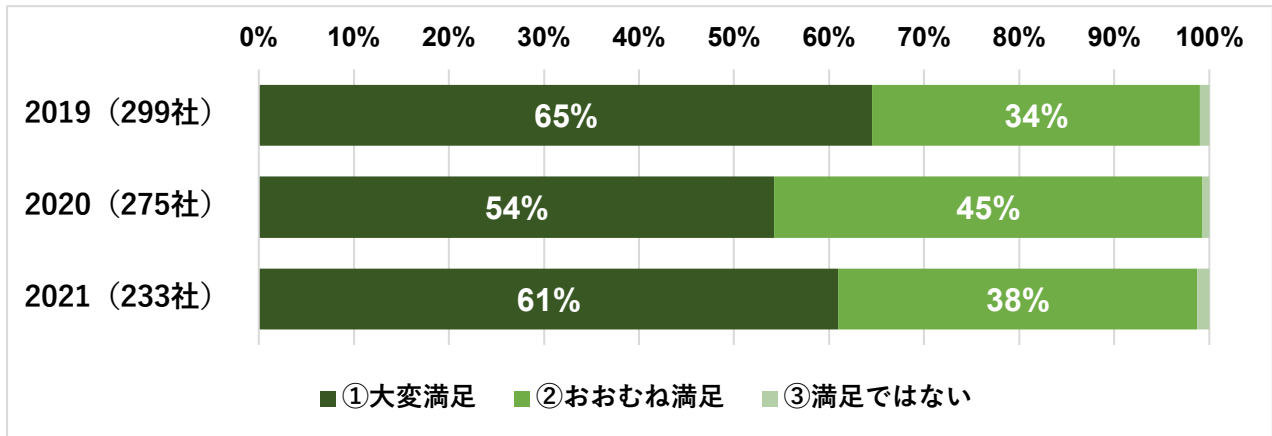
(単語が共通に出現する関係を円と線で表示した図。線上の係数の高さが関係の強さを表す)



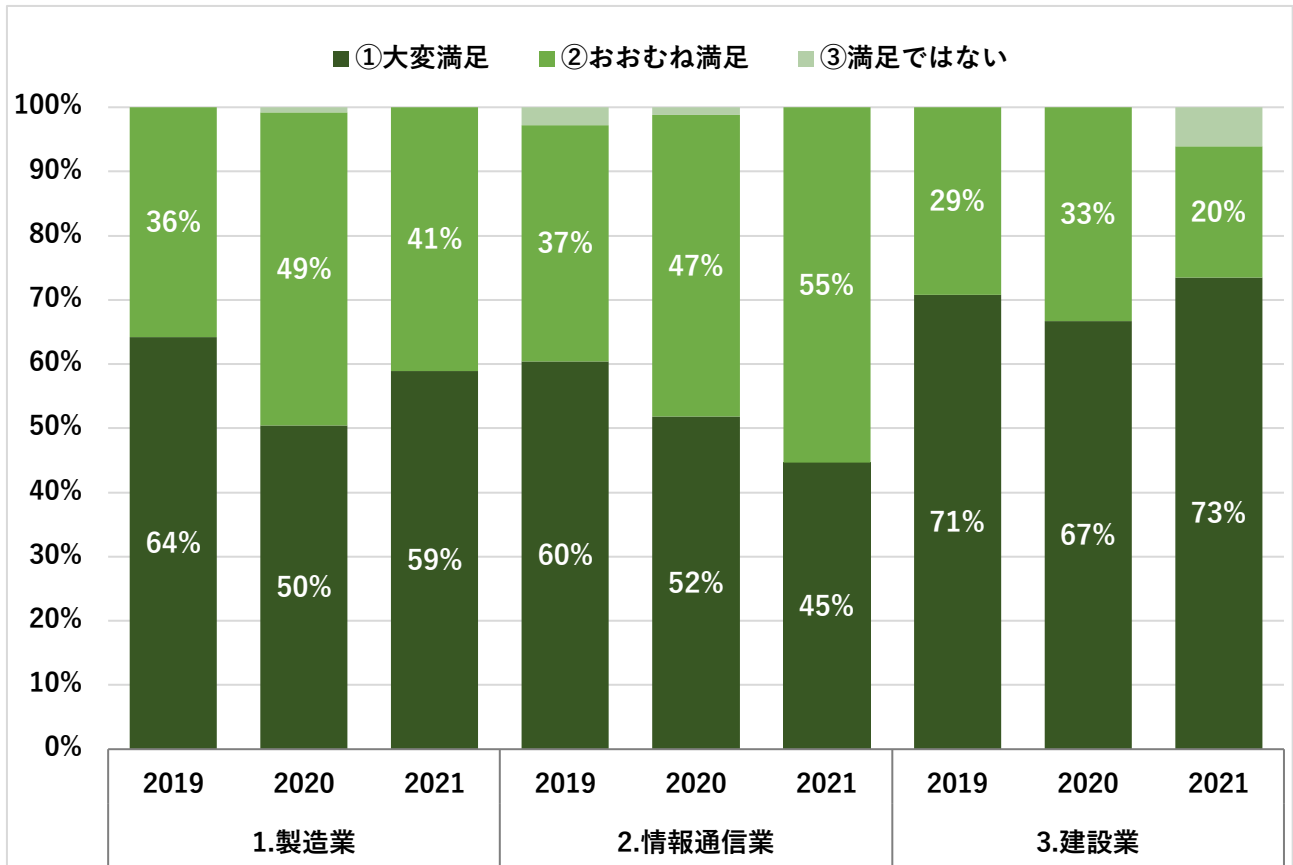
経年比較

1.採用した学生への満足度及びコミュニケーション能力の評価の経年比較（ ）内は有効回答社数

(1) 全体

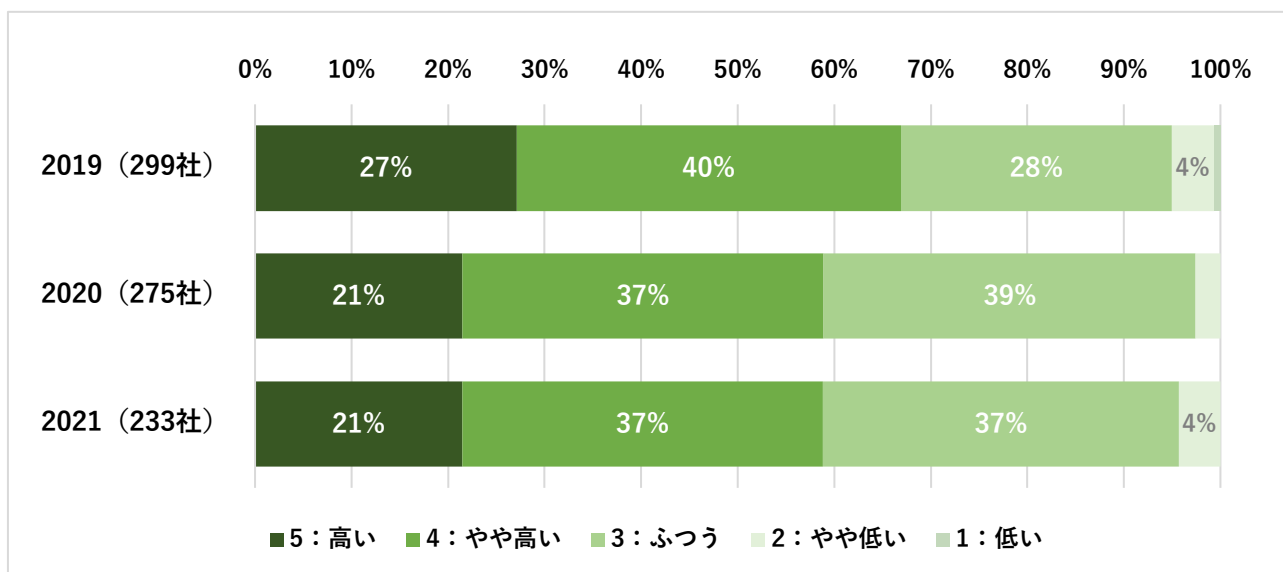


(2) 主要な業界（製造業・情報通信業・建設業）の満足度推移

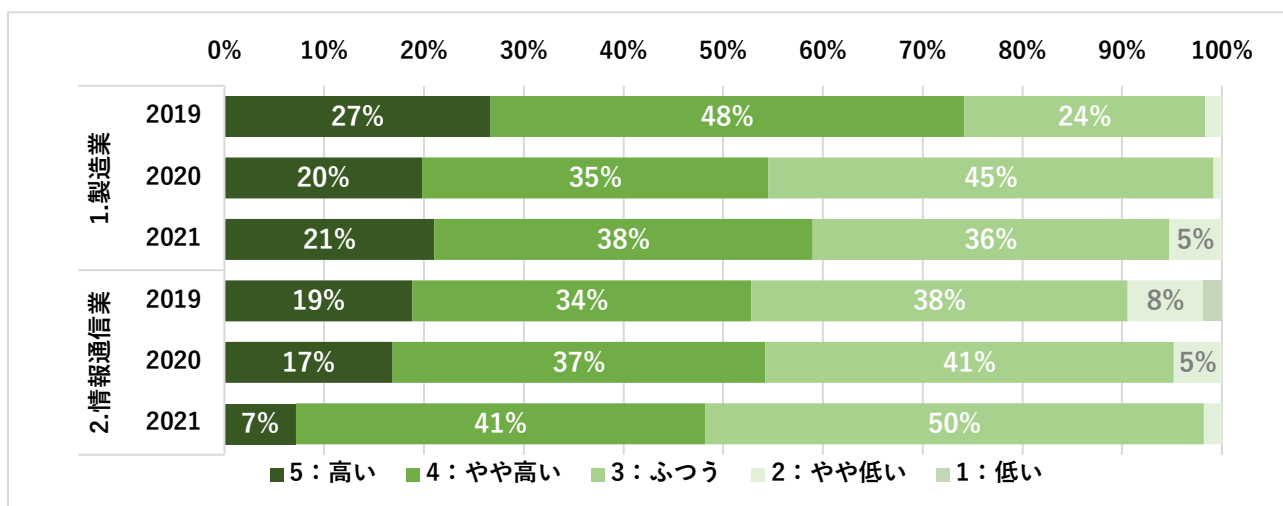


2.採用した学生の能力評価

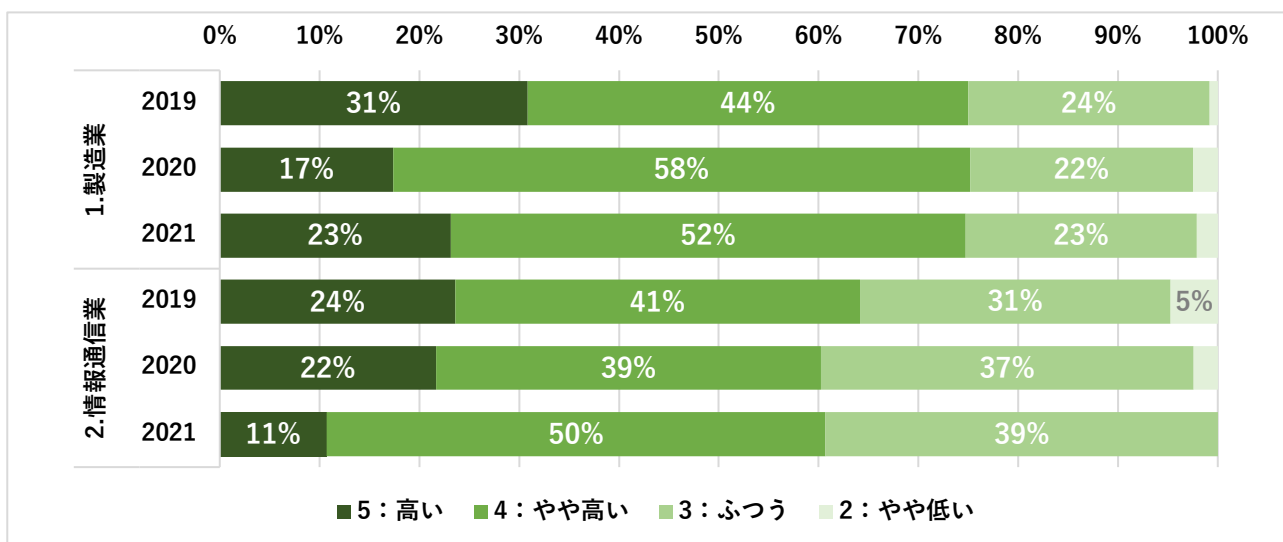
(1) コミュニケーション能力（全体）



(2) コミュニケーション能力（製造業と情報通信業の比較）



(3) 意欲・積極性（製造業と情報通信業の比較）



総括

この報告は、IR センターのデータ集計より作成し、教育の質の保証への参考とすることを目的としている。2021 年度は、過去 3 年間に学生が内定した企業を中心とした 1302 社を対象にアンケートを実施した。2021 年度のアンケート結果から、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響が学生の就職や学生生活にも大きく影響した結果となった。

企業が求める人材像に対して電大生はどう評価されているかを知ることにより、電大生の「強み」と「弱み」が浮き彫りになった。企業が考える**電大生の強みは「基礎的な知識・技術」と「意欲・積極性」**であり、**弱みは「コミュニケーション能力」と「ストレス耐性・粘り強さ」**である。これは企業からみた電大生が「真面目で手堅い」「協調性がある」「素直で指示によく従う」「勉強熱心で向上心が高い」と関連した結果となった。

強みの部分については、電大生の**真面目な気質と教育・研究がしっかり行われている**ことの表れであり、このまま保持していきたい。

弱みとされる「コミュニケーション能力」については、新型コロナウイルス感染症の影響で、友人や教職員との直接的な関わりが少なくなったことでより深刻化している。**グループでやり遂げる経験や、課題解決型教育の充実**が求められている。コミュニケーション能力は直ぐに養われる能力ではないため、低学年次から社会人基礎力(経済産業省)が身に着く支援をしていく必要がある。キャリア支援・就職担当では、**キャリアデザインプログラム(オンデマンド対応のキャリア講座配信)やグループディスカッション**などについて更に力をいれていきたい。

また今年度から 1 年生から学生自身が記入する修学カルテに「キャリアプランシート」を導入する。これは、1 年生から自分の将来について考え、目的意識を持って学生生活を送る後押しを目的としており、1 年生科目「東京電機大学で学ぶ」の授業と連携して実施する。

もう一つの弱みである「ストレス耐性・粘り強さ」についても、コロナ禍が大きく影を落としている。学生は成長実感が薄く自分に自信が持てない、価値観・考え方の異なる人との関わりが減り自分が好きな事にだけ夢中になるなど視野の狭さ、意欲の低下につながっている。その結果、社会の変化や自分が置かれている環境に対応できないなどの問題が生じている。

大学生活においては、友人に加え、社会人や卒業生など様々な人と関わることのできる対面での機会の提供や、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかを意識できる授業の充実が求められる。また、**実験・実習などを通してモノ作りの達成感を仲間と共有や研究成果発表**などを通じて**自分に自信が持てるような経験**を積む機会を増やすことが望まれる。

以上